



土屋 明美 さん  
(中山地区)

実はトマトが  
苦手だったん  
です。(---)

## インタビュー よびごぎったなっすー 中山地区が私を トマト農家にしてくれました。

「中山の魅力を広めたい」と語る、真っすくな瞳に感動しました。

**出身はどこからですか。**

福島県伊達郡国見町の生まれです。ちよつと萩野のようなところで育ちました。

**ご主人とはどうして。**

山形工科大学短期大学の先輩でした。卒業後結婚して、3年後に中山に移住しました。農業には全く縁がなく、土いじりをするなんて考えられないお嬢様でした。(信じてもらえませんか?)

**トマト栽培をするようになったきっかけは。**

「近所のおじさんからトマトを箱でいただいたのです。」「トマト苦手なんです」「なんて言えるはずもなく…。」「ところが「食べてびっくり」「これがとてもおいしいのです。自分からいただきに行くとよくなって、その後ハウスを引き継ぎトマト農家になりました。」

**やってよかったと思えますか。**

正直、今考えると甘かったです。思いつ時もありましたが、決して失敗したとは思いません。でも、『ここ』だから始められたと思います。ほかの地区に住んでいたならトマトは作っていませんでした。

中山の「人」と「自然」が私をトマト農家に育ててくれました。

**いま、取り組んでいることは。**

外から来た私たちの手で、中山の魅力を広めたいと、他県から移住した友人と「やってみんべ・してみんべ」を立ち上げました。子どもから大人まで、すべての世代を対象にしたイベントを企画して、中山を会場に開催しています。

**トマト栽培の工夫は。**

冬になる前にハウスのビニールを外してさら地にし、土を鍛えなおしています。とてもいい土壌だとのお墨付きもいただきました。

**販売拡大の工夫は。**

ホームページを開発して、全国に発信しています。個人のお客様を増やしていきたいです。私のトマトは日持ちがいいと評判なんですよ。

**町や議会へ望むことはありますか。**

作物にしてもイベントや作品にしても、それぞれにとても素敵なものばかりです。いくつか共通のテーマでつなぐれば、白鷹町を大きくPRしていけるのではないかと思います。

若い人たちと話す時、時間を忘れるほど盛り上がります。どんどんアイデアも出てきます。若い世代の意見を聞く場を設けられたらいいと思います。



### 編集後記



雪のない正月を迎えたと思ったら、1月12日頃から降雪があり、重い雪のため果樹の枝倒れやビニールハウスの倒壊などの被害が出た冬でした。関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

29年度は、近年になり大型予算が計上されました。まちづくり複合施設建設が大きな事業です。7月からの着工に向けて準備が進んでいます。町の木材をたくさん使って建てられます。町民に身近で末永く親しんでもらえる施設になるように望みます。

(笹原)

### 広報委員

委員長 山田 仁  
副委員長・編集長 小口 尚司  
委員 石川 重二  
委員 佐々木 誠司  
委員 笹原 俊一  
印刷・梅津印刷



お手持ちのパソコンで議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。